広報 おばま

「海、無限大」感動おばま

5

2015

《表紙》
４月から、新たに「やまなみ保育園」が誕生しました。雲浜・西津保育園が統合民営化により、一つになったものです。入園３日目のこの日、３歳児クラスの園児35人が、園庭に設置されたウッドデッキの上を初めて歩きました。
（水取四丁目・４月９日）

《今月の題字》
遠敷小学校６年 武田來己（たけだくるみ）さん

【特集】 観光のまちづくり

明日を走る　明日を創る

特集Ⅰ 観光のまちづくり

■問い合わせ　商工観光課☎64・6021

観光を軸としたまちづくりを推進する「おばま観光局（株式会社まちづくり小浜）」の設立から5年。それまでの、行政主体から、行政と各種団体および地域住民と民間事業者が協働する体制へ転換し、新たな観光推進組織による観光まちづくりが進められてきました。6年目を迎える観光局の「これまで」と「これから」をお届けします。

おばま観光局は、平成22年4月に、市と民間10団体（若狭おばま観光協会、小浜商工会議所など）の出資により、第三セクター※の「まちづくり株式会社」として設立されました。これにより、従来の観光協会が誘客を行い、観光局が訪れた観光客のおもてなしの基盤づくりを行い、行政が観光施設整備に取り組むという役割分担ができ、3者が市民、事業者とともに一体となって観光まちづくりを進める体制が完成しました。

※第三セクター＝地域開発，都市づくりなどのため、国または地方公共団体と民間企業との共同出資によって設立された事業体

右上／平成22年4月に観光局を設立
右下／地域と連携した体験メニュー開発
左上／昨年は小浜体験モニターツアーを企画して、関西圏からの観光客にPR
左下／道の駅を拠点とした商品開発

おばま観光局 5年の歩み

平成22年	市と民間10団体の出資により設立（4月28日） まちづくり市民幹事会を設置
平成23年	食育ツーリズム、まち歩き観光などの商品開発や体験イベント、体験農園などによる地域活性化の取り組みを開始 道の駅「若狭おばま」の指定管理を受託し運営を開始 市民実行委員会がミチフリマーケットを開始
平成24年	「てんこもり小浜フェスタ」「小浜ぶらり」を開始 市民幹事会が「里山」「まち」「海」プロジェクトを開始
平成25年	道の駅「若狭おばま」に電気自動車充電設備と連絡通路を設置 道の駅「若狭おばま」を増床リニューアル
平成26年	舞鶴若狭自動車道全線開通。道の駅の集客が増加

取り組み

おばま観光局が取り組む 観光のまちづくりを紹介します

◀大勢の人でにぎわう道の駅

観光局では、まち全体のにぎわい創出を目的に、観光を軸としたまちづくりを推進。観光振興事業の柱として
①誘客プログラム開発
②特産品開発
③観光基盤整備
④情報発信
を掲げて取り組んでいます。

平成23年3月12日に開業した道の駅「若狭おばま」（和久里）。指定管理者として観光局が運営し、初年の入り込み客数は35万人を達成。以後、毎年利用者数を増加させています。

観光局では、道の駅を拠点に、市内農業者や事業者と連携して、さまざまな商品を開発。また、〝小浜の玄関口〟として、情報を発信することで、観光客の市内への誘導を図っています。

昨年7月の舞鶴若狭自動車道全線開通により、通過点になることも懸念されましたが、全線開通後3カ月の調査では、同駅の入り込み客数が前年の同時期と比べて約20％アップするなど、効果が現れています。

滞在型・体験型の 観光メニューを開発

観光局では、滞在型・体験型観光を促進するために、地域や事業者、団体と連携して、観光メニューを開発。平成24年度から、それらを一つにまとめた形で提供・発信する「てんこもり小浜フェスタ」を実施してきました。

平成26年度のフェスタ（9月から11月開催）では、「鯖寿司食べ比べクーポン」や「海鮮てんは ま丼まつり」、「漁師体験＆シーカヤック体験」など、46のプログラムが体験でき、延べ1万6千人以上の人が参加しました。

ほかにも、まち歩き観光を楽しめる「小浜ぶらり」や魚料理をPRする「若狭おばまお魚まつり」などが実施されています。

観光局の立ち上げから5年が経ち、「てんこもり小浜フェスタ」など小浜のまち全体で一つになって、体験型や滞在型のプログラムを提供する事業がようやく実を結んできました。

大切にしているのは、お店やイベント、祭りなどの素材を「横につなぐこと」。そして、語り部さんなどの人やパンフレット、インターネットを通して、外部の人に「紹介すること」です。訪れたお客さんには、少しでも長く滞在してもらえるように、市民団体や事業者の皆さんとともに、魅力ある観光のメニューづくりに励んでいます。

昨年の舞鶴若狭自動車道全線開通により、都市と小浜とを結ぶルートが、かなり整備されました。伝統や自然など小浜の良さを都市部へ発信し、人を呼び込み、道の駅・海の駅・まちの駅の3駅を核としたオール小浜の「おもてなし」体制を築いていきたいです。

おばま観光局
取締役企画経営部長
朝倉（あさくら） 昌也（まさや） さん（60歳）

市民協働

合い言葉は「協働」オール小浜体制で地域を元気に

▲上根来プロジェクトで地域活性化

アイデアを形に 市民が主役のまちづくり

市民主導でまちづくりを推進していくために、市民からボランティアを募集して、観光局内に設置されたのが「まちづくり市民幹事会」です。

幹事会は目的ごとの部会に分かれて、市民目線でのアイデアを実践し、観光局がサポートすることで、活気あるまちづくりにつなげてきました。

市民幹事会からは、市民主役による新たなまちづくりプロジェクトが誕生しています。

体験部会が立ち上げた「上根来プロジェクト」では、自然や集落という上根来区の観光資源に注目し、地域活性化の取り組みを展開。雪で作る天然の貯蔵庫「雪室（ゆきむろ）」を使った新たな特産品の開発や、古民家のゲストハウス化、自然エネルギーをテーマにした体験型イベントの開催など、活動は多岐に渡り、にぎわいの創出につながっています。

また、市民実行委員会が、道の駅で毎月開催する「ミチフリマーケット」は、口コミで噂が広がり、現在は市内外から約10団体が出店。観光局や行政との協働で、音楽ライブや体験イベントも同時開催するなど道の駅の目玉の一つとなっています

▼道の駅で開催のミチフリマーケット

もっと住みやすいまちを目指して

今年で6年目を迎えるおばま観光局。平成27年度は、「食」や「まち歩き」をテーマにした観光商品開発、さとうみ体験プログラムの拡大、既存の観光メニューのさらなる充実などが計画されています。

また、4月から食事処「濱の四季」（川崎三丁目）の指定管理を受託したことで、道の駅とともに、地域の観光施設を生かした誘客への取り組みが期待されています。

都市間競争が激しさを増す中、地域住民・民間事業者・行政が一体となった「オール小浜体制」で、観光を軸とした魅力ある地域づくりを進め、最終的には、Iターン者やUターン者が移住を希望する「住みやすいまち小浜」の確立を目指していきます。

トピックス Topics

「住みやすさ」ランキングで小浜市が５位に！

経済産業省が市区町村の「住みやすさ」を金銭価値に置き換えたランキングを発表。小浜市は全国 1,741 市区町村中５位（県内１位）に選ばれました※全国１位は島根県松江市。このランキングは、〝生活利便性〟や〝自然環境〟など 22 項目への優先順位と金銭価値を１万人へのアンケートにより算出。その数字を基に、標準的な家庭だと全国の市区町村それぞれにいくらの価値を感じるのかが試算され作られたものです。

People

ミチフリマーケット実行委員会
実行委員長　**中野（なかの） 正勝（まさのり）** さん（33 歳・山手二丁目）

平成 23 年に友人と同実行委員会を立ち上げ。以後、毎月道の駅を会場にしたフリーマーケットを開催。おばま観光局市民幹事会委員

魅力ある地域づくりを目指して

平成23年5月から道の駅を会場にしたフリーマーケットを市民ボランティアで運営しています。小浜にあまりなかった「定期的」で「誰でも参加できる」イベントをやってみたいという思いからスタートしました。

今年で5年目を迎えますが、おかげさまで道の駅に定着したイベントとして、3月から11月の毎月第3日曜日に、市内外から約10団体・個人が出店。主に衣類・子ども服、雑貨、おもちゃ、食器などが販売されています。

地元の人からも「毎月楽しみにしてるよ」という声をいただいています。買い物だけでなく、フリーマーケットや道の駅が、〝人と人とをつなぐ場所〟になればいいなと思います。

道の駅とともに歩んできたイベントなので、観光局と連携して、今後も長く続けていきたいです。地元の子どもたちが、将来小浜に帰ってきたい、この土地で生きたい、と思えるような、魅力ある地域づくりを目指して、がんばっていきたいですね。

お客様を笑顔にできるように

おばま観光局では、「濱の四季」の指定管理者になったことをきっかけに、4月4日に同所をリニューアルオープンしました。営業時間を11時から21時まで（水曜定休）に拡大するなどサービスの充実に努めています。

「地産地消」や「スローフード」の推進というこれまでの理念を継承しながら、総勢15人で運営しています。特に設立当初からのスタッフが持つ食に関する知恵や経験を生かして、より良いお店にしていきたいです。

おもてなしの基本は「笑顔」だと思います。笑顔でお客様をお迎えして、接客を通して笑顔にできるように心がけています。お客様から、「おいしかったよ」、「小浜に来て良かった」という言葉をいただいたときに、一番喜びを感じます。

カフェメニューの導入や新鮮な魚介類を生かした創作料理の提供なども検討しています。観光のお客様はもちろん、地域の皆様からも愛されるお店を目指したいですね。

お食事処 御食国若狭おばま「濱の四季」
店長　**楠（くすのき） 昌子（しょうこ）** さん（53 歳・城内二丁目）

平成 23 年４月から道の駅「若狭おばま」のフードコート主任として勤務。平成 27 年４月から「濱の四季」の店長として運営に取り組む

認知症になっても安心して暮らせるまちを目指して
あなたに知ってほしい、認知症のこと

急速に少子高齢化が進んでいる日本。世界のどの国もこれまで経験したことのない超高齢社会を迎えています。

小浜でも、団塊の世代が65歳を迎え、3人に1人が高齢者となっています。

認知症は、高血圧や糖尿病と同様の「病気」であり、年を取れば誰にでも起こり得る、また、誰もが関わる可能性のある身近な病気なのです。

しかし、認知症については、まだまだ、誤解や偏見もあり、それが原因で、認知症の人も周囲の人も、傷ついたり、疲れたりしています。

認知症を予防するとともに、自分自身やまわりの人が認知症になっても、笑顔で暮らせるように、症状や対策などについて正しく理解しましょう。

認知症についての誤解

認知症は一部の人の病気？
認知症は脳の障害による病気で、誰もがかかる可能性があります。

認知症は治らない？
早期発見と適切な治療やケアをすることで、症状を軽減することが可能です。

認知症は予防できない？
生活習慣の改善で、認知症の発症を遅らせる可能性があることがわかってきました。

どうして早期発見が大事なの？

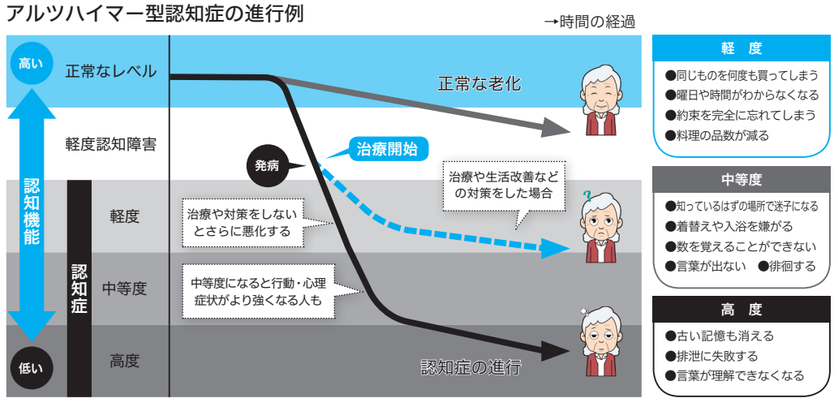
時間と共に重症化する認知症

認知症は、放っておいたり、不適切な治療やケアを行ったりしていると、時間と共に症状が悪化します。認知症を引き起こす原因を早く突き止め、適切な治療を開始することが大事です。

また、高血圧、糖尿病、脂質異常症など、生活習慣病の予防・改善をきちんと続ければ、認知症の予防にもつながります。

認知症かもしれないと、思ったら、まずはかかりつけの医師に相談を！

アルツハイマー型認知症の進行例



早期発見ができれば…

①対策を立てることが可能
症状が軽く意志の疎通ができるうちに、本人と家族で話し合い、今後の生活のプランを立てましょう。介護保険サービスを利用するなど体制を整えましょう。

②隠れている病気を治す
正常圧水頭症などの脳の病気によって認知症の症状が現れることもあります。早めの受診で原因を突き止めて治療すれば、病気が治り、認知症の症状も軽減します。

③進行を遅らせることが可能
アルツハイマー型認知症は、薬を使うことで、進行スピードを遅らせることができます。早い段階から使い始めると効果的です。

小浜の高齢者の10 人に1 人が認知症に

小浜の要介護認定者に占める認知症高齢者数は、1,118 人（平成 26 年 9 月末時点）で、高齢者全体の 12.3%にあたります。介護認定の原因疾患としては、第 2 位となっています。今後も、高齢化の進行に伴い、認知症高齢者は増加することが予想されます。市では、認知症の人やその家族が安心して暮らせるよう、さまざまな取り組みをしています。

■もの忘れ検診

脳の元気度をチェックする検診です。健康チェックリストの回答結果により、医療機関での相談の勧めがあれば、ぜひ、かかりつけの医師などに相談してください。

対象：介護保険認定を受けておらず、平成 27 年度中に、66、69、72、75、78、81、84 歳になる人
※市からチェックリストを送付

■脳とからだの体操教室

からだ、こころ、いきいき！認知症予防にぴったりの講座です。軽運動と頭の体操を同時に行う「コグニサイズ」や、外出計画など、楽しみながら頭と体を動かします。

対象：左記の、「もの忘れ検診」対象のうち、認知機能低下を心配されている人
※申し込み、問い合わせは、地域包括支援センターまで

■小浜市認知症サポートリーダー

昨年度、初めて誕生した、地域の認知症を応援する組織です。認知症の人やその家族が住み慣れた地域で安心して生活できるまちづくりを推進するため、地域や職域などにおいて、認知症サポーターの養成、認知症に対する理解の普及啓発、認知症の人やその家族の相談役となります。各地区からの総勢 32 人が、地域との「かけ橋」として活躍します。

みんなで、はじめませんか？
認知症になっても、安心して暮らせるまちづくり

認知症の人とその家族が、慣れ親しんだ地域で安心して暮らしていくためには、地域全体で、見守り、支えていく、「つながり」が必要です。

市では、認知症を正しく理解して、認知症の人と共に、安心して暮らせる温かいまちづくりを進めています。

【 認知症サポーター養成講座 】

自治会やグループで研修を受けてみませんか？

認知症キャラバンメイトと、認知症サポートリーダーが、講師となって、皆さんの地域にお伺いします。

地域ぐるみで、認知症になっても、住みやすいまちづくりに取り組んでいきましょう。

▶認知症サポーターとは

認知症を正しく理解して、まちに暮らす認知症の人やその家族を温かく見守り、支援する応援者です。

何か特別なことを行うのではなく、認知症の人やその家族を温かい目で見守ることから始めます。そのことが、認知症の人が地域で安心して暮らすための支えにつながります。

研修申し込みなど詳しくは、地域包括支援センター（下記）まで

認知症ケアパスを活用してください

市では、「小浜版認知症ケアパス」を作成しました。

認知症を発症すると、生活の中でいろいろな支障が出てきます。その進行状況に合わせて、「いつ」、「どこで」、「どのような」、医療や介護サービスが受けられるかを標準的に示したものです。

認知症について心配のある人は、地域包括支援センターに相談してください。

地域包括支援センター
木橋（きばし） 社会福祉士

認知症の不安、一人で抱え込まないで、気軽に相談してください
■問い合わせ　小浜市地域包括支援センター（南川町・健康管理センター内）☎ 64・6015

平成27年度 市の組織図

■組織体制の見直し

①人口減少対策について全庁体制で取り組むとともに、第5次小浜市総合計画の改定を実施するために、企画部内に人員を増強し、新たに「人口増未来創造課」ならびに「人口増創造グループ」を設置し、企画課を廃止しました。

②平成30年開催の福井しあわせ元気国体・障害者スポーツ大会の開催を推進するため、企画部に「国体・障害者スポーツ大会推進課」を設置しました。

③条例や規則の制定等を円滑に行い、条例遵守のチェック体制を強化するため、総務課の「行政・法務グループ」を改編し、「法務グループ」を独立させました。

④本市に多くの外国人観光客を誘致するための情報発信・体制づくりを行っていくため、商工観光課の「観光推進グループ」を「観光推進・インバウンドグループ」に改めました。また、市内の観光資源を整備し、受け入れ体制を整えるため、「観光おもてなしグループ」を設置しました。

⑤子どもの体力の向上と、こころの発達を促進させるために社会福祉課に運動保育士を配置しました。

また、生活困窮者自立支援法に基づき、「自立促進支援センター」を設置しました。雲浜保育園・西津保育園の統合民営化により、「やまなみ保育園」が開園し、両園が廃園するため、職員の配置転換を行いました。

⑥農業の担い手を新規育成するため、農林水産課の「農業振興グループ」を「農業振興・担い手育成グループ」に改めました。

⑦舞鶴若狭自動車道の全線開通に伴い、都市整備課の「舞鶴若狭自動車道対策グループ」を廃止し、国道162号西津大手橋の整備などを進める「幹線道路グループ」を設置しました。

⑧職員数は294人となり、第5次行政改革大綱の数値目標296人を達成しました。

■女性職員の登用

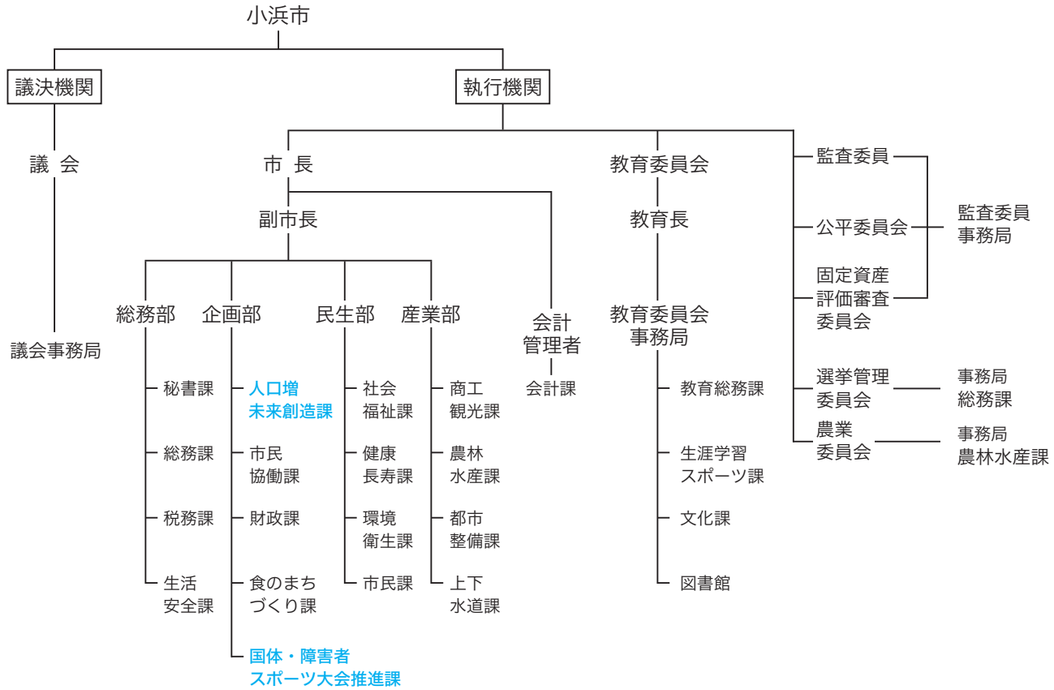
新たに部次長級に2人、主幹に4人、課長補佐に8人を登用しました。

■国、県などとの人事交流

①引き続き、農林水産省より1人、福井県教育委員会より1人、職員を受け入れました。

②引き続き、経済産業省に1人、福井県に2人、岩手県釜石市への人的支援のために1人、職員を派遣しました。

■小浜市機構図（平成27年4月1日現在） ※青字は新設



組織

※部長級から課長補佐まで。太字は新任（異動）。次長は課長事務取扱。GLはグループリーダー

【総務部】
●部長＝**山口雅巳**

【秘書課】
●次長＝安田一雄 ●課長補佐＝**河野泰和**

【総務課】
●次長＝**松井俊樹** ●行政GL、男女共同参画推進GL＝松見一彦 ●法務GL、拉致被害者・家族支援GL＝**内田靖彦** ●人事・教育GL＝佐々木宏明 ●契約検査GL＝**田中正俊**

【税務課】
●課長＝**松川雅弘** ●徴税GL＝四方宏和 ●庶務GL＝岩本秀子 ●課税GL＝今村昭広

【生活安全課】
●課長＝**岩滝満彦** ●防災GL＝兼田清史 ●交通・防犯GL＝松本一良 ●消費生活相談GL＝畑中三枝

【企画部】
●部長＝南谷憲児

【人口増未来創造課】
●次長＝**大下雅章** ●人口増創造GL＝**石田一郎** ●企画調整GL＝澤谷欣弘 ●北陸新幹線・総合交通推進GL＝内田和信 ●日本遺産推進GL＝**下仲隆浩**

【市民協働課】
●課長＝**地村知代** ●広報・広聴GL＝廣瀬香代子 ●情報・統計GL＝**竹原恵子** ●市民協働GL＝藤本雅樹

【財政課】
●次長＝伊須田尚 ●財政・行政改革推進GL＝山口久範 ●管財GL＝日比野伸彦

【食のまちづくり課】
●次長＝北野絹子 ●食のまちづくりGL＝**吉岡和広** ●食育推進GL、ミラノ国際博覧会推進GL＝中田典子

【国体・障害者スポーツ大会推進課】
●課長＝**檀野清隆** ●課長補佐＝**福田雅一**

【民生部】
●部長＝**松田克彦**

【社会福祉課】
●次長＝中野純子 ●生活支援GL＝橋本敏博 ●障がい・母子福祉GL＝松宮眞由美 ●少子化対策・児童保育GL＝**吉田美代子** ●子育て支援センター園長＝**小畑智恵** ●母と子の家児童発達支援センター園長＝片山忍 ●浜っ子こども園長＝**中本玲子** ●内外海保育園長＝**大橋敏美** ●国富保育園長＝池田裕子 ●宮川保育園長＝**小林美希** ●松永保育園長＝西川圭子 ●遠敷保育園長＝畠中洋子 ●口名田保育園長＝野村恵 ●中名田保育園長＝**河野美智江** ●加斗保育園長＝**清水美和**

【健康長寿課】
●次長＝齊藤睦美 ●介護保険GL＝**的場英美** ●長寿のまちづくりGL＝**芝和繁** ●地域包括支援センター次長＝安倍小百合 ●保健・食の安全GL＝山本佳代子

【環境衛生課】
●課長＝**岡正人** ●衛生・広域化推進GL＝青木英希 ●環境・水保全GL＝**出口雅浩** ●クリーンセンター次長＝津田実 ●衛生管理所次長＝重田富士雄

【市民課】
●次長＝小南弘幸 ●市民窓口GL＝松﨑英子 ●保険・年金GL＝藤本倫子

【産業部】
●部長＝**橋本長一朗**

【商工観光課】
●課長＝**和久田和典** ●商工振興GL、企業誘致・雇用推進GL＝畑田康広 ●観光振興・インバウンドGL＝清水淳彦 ●観光おもてなしGL、国際・都市間交流GL＝河島ミキ子 ●地域力活用・六次産業推進GL＝遠藤浩規

【農林水産課】
●次長＝**御子柴北斗** ●農業振興・担い手育成GL＝**小笠原章夫** ●農業委員会GL＝西島登美 ●林業・水産振興GL＝大山孝幸 ●計画・整備GL、鳥獣害対策GL＝**河原弘和**

【都市整備課】
●次長＝小嶋直人 ●道路河川管理GL＝上窪弘之 ●計画GL＝松﨑行生 ●整備GL＝角野覚 ●建築景観GL＝**中山治和** ●住宅管理GL＝**山口幹子** ●幹線道路GL＝**田井隆行**

【上下水道課】
●次長＝**天谷祥直** ●上水普及経営GL＝和久田恒義 ●下水普及経営GL＝**小畑成人** ●建設管理GL＝上野正博

【会計課】
●会計管理者（次長級）＝**山下善嗣**
●課長補佐＝**田中博恵**

【議会事務局】
●局長（部長級）＝大野木徹 ●次長＝**領家直美**

【監査委員事務局】
●局長（次長級）＝大岸美由紀 ●次長＝石田悟司

【教育委員会】
●部長＝松林吉博

【教育総務課】
●次長＝西田雅志 ●教育総務GL＝**坂上和由** ●学校教育GL＝森徳美 ●東部地区小学校整備GL＝谷義幸 ●小浜幼稚園長＝**車田民江**

【生涯学習スポーツ課】
●課長＝**前野浩良** ●生涯学習GL、スポーツ振興GL＝渡邉英明 ●若狭総合公園温水プール次長＝**岸本洋一**

【文化課】
●課長＝**東野克拓** ●文化遺産活用GL＝百田典子 ●文化文芸振興GL＝**田中陽子**

【図書館】
●館長＝松林吉博 ●館長補佐＝石倉淑美

Photo News フォトニュース

海のガーデンを彩り豊かに

福井トヨペット㈱が社会貢献活動として、市にソメイヨシノの苗木などを寄贈（市庁舎・4月10日）

小浜の干物　炭火焼きでどうぞ

海の駅整備の一環として、お魚センター内に、「七輪焼き広場」がオープン（川崎一丁目・4月2日）

子どもの作品 マンホールのふたに

小中学生対象の「下水道マンホールふたデザインコンテスト」の入賞作品3点を採用（駅前町・4月12日）

福井国体での活躍に期待

小浜市ウエイトリフティング場が完成。お披露目式で選手が模範演技を披露（後瀬町・4月5日）

小浜をPR　キララメイツ委嘱式

今年度は、宮谷（みやたに）はづきさん（24歳・左）、佐久間（さくま）絵里（えり）さん（19歳・右）の2人（文化会館・4月7日）

地域の見守り体制を強化

小浜市地域見守り活動協力に関する協定を、市と21の事業者の間で締結（市庁舎・3月24日）

思い出よ いつまでも

西津保育園で閉園式。在園児や保護者、卒園児らが幕3枚に記念の手形を押す（北塩屋・3月28日）

一流の技術　伝える

フランスの画家ジャン＝フランソワ・ミランさんが、若狭高校美術部の生徒と交流（若狭高校・3月20日）

郷土の偉人を顕彰

小浜藩出身で幕末に活躍した梅田雲浜の生誕200年記念事業実行委員会が設立（働く婦人の家・4月3日）

先生、今までありがとう

雲浜保育園で閉園式。園児が保育士に自分たちの写真入りの記念品を贈呈（城内一丁目・3月28日）

春を呼ぶ笑いの競演

アマチュア落語大会の優勝者を集めた「全国素人落語名人会」が開催（はまかぜプラザ・3月22日）

安心安全なまちづくり

福井エフエム株式会社が市内小学校の新一年生分の防犯ブザー270個を贈呈（市庁舎・3月30日）

クリーンアップふくい大作戦

環境衛生課☎内線 145

市内全域で「クリーンアップふくい大作戦」を実施します。当日は不法投棄のごみ、草刈りで刈った草木、側溝汚泥（ヘドロのみ）などを受け入れます。

受入時間　6月7日㊐8時30分～12時

受入場所

燃やすごみ▶クリーンセンター（谷田部）

不燃物ごみ▶リサイクルプラザ（深谷）

※雨天の場合も受け入れは実施

その他　家庭や事業所からのごみは受け入れできません

乾燥肥料の無料配布

衛生管理所☎52・1522

し尿を処理した後にできる「乾燥肥料」を無料配布します。1人20袋までで、なくなりしだい終了。

と　き　5月10日㊐8時30分～

ところ　衛生管理所（荒木）

その他　開封後は早めに散布し、必ず覆土してください

◆お知らせ◆

軽自動車税の減免申請

税務課☎内線 135

軽自動車税の減免を受けるには、毎年申請が必要です。

対　象　①障がい者（身体、知的、精神）が使う軽自動車

②障がい者と生計を共にする家族が、障がい者のために使う軽自動車（要通院証明書）

持ち物　①身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳のいずれか

②運転免許証

③車検証　④印鑑

申請期限　5月25日㊊

※障がいの等級または車の名義によっては減免を受けられないことがあります。また、自動車税（普通自動車）の減免や福祉タクシーと重ねて受けることはできません

高齢者の肺炎球菌感染症定期予防接種

健康管理センター☎52・2222

と　き　5月18日㊊～平成28年3月31日㊍

対　象　①国で定める指定年齢の人

②年齢が60歳以上65歳未満で、心臓・腎臓もしくは呼吸器の機能またはヒト免疫不全ウイルスなど、重い病気のある人（身体障害者手帳の内部障害1級程度）

※①は5月中旬に通知　②は本人の申込が必要

負担金　3,300円（生活保護受給者は無料）

※ただし、市外の医療機関で接種の場合、別途費用がかかる場合有

※医療機関への事前予約が必要です

※過去に接種した人は対象外です

ひとり親家庭の巡回養育費相談

社会福祉課☎内線 185

ひとり親家庭を対象に、養育費に関する相談会を実施します。

と　き　5月12日㊋13時～15時

ところ　敦賀市福祉総合センター（敦賀市東洋町）

ひとり親家庭学習支援事業

県母子寡婦福祉連合会事務局☎0776・21・0733

県母子寡婦福祉連合会では、ひとり親（母子・父子）家庭の子どもたちの学習支援をしています。

対　象　ひとり親家庭の小学1年生～中学3年生

と　き　5月9日㊏、24日㊐、6月6日㊏、20日㊏、28日㊐、7月18日㊏、26日㊐

※8月以降の日程は問い合わせてください

ところ　働く婦人の家（大手町）

内　容　宿題などの支援が中心

生活習慣病検診

健康管理センター☎52・2222

と　き　5月26日㊋、29日㊎、6月2日㊋、3日㊌

※26日、29日は40歳～74歳までの国民健康保険加入者が対象

ところ　健康管理センター（南川町）

※2日 中名田公民館（下田）

3日 田烏漁協組合（田烏）

内　容　特定（基本）健診、がん検診（肺・胃・大腸・子宮頸・乳・前立腺）、C・B型肝炎ウィルス検査、骨検診

※29日は子宮頸がん・乳がん検診なし。2日3日は子宮頸がん・乳がん・骨検診なし

※早めに申し込んでください（定員有）

※特定健診は、ご加入の健康保険者が発行した受診券が必要です

※本年度より市民税課税・非課税世帯を問わず、すべてのがん検診に受診料金が必要です

後期高齢者医療制度加入者の個別検診（無料）

健康管理センター☎52・2222

5月1日㊎から指定の医療機関で個別検診が受けられます。

内　容　基本健診、がん検診（肺・胃・大腸・子宮頸・乳）

※健康管理センターで発行する受診券を持って、医療機関で受診

歯のゼミナール

健康管理センター☎52・2222

若狭地区歯科医師会では、歯のゼミナールを開催します。

と　き　6月6日㊏

13時30分～16時30分

ところ　健康管理センター（南川町）

内　容　歯の検診・相談、フッ素塗布、咬合力測定など

※申し込み不要。参加費無料

ミニ企画展「明治の学生さん」

山川登美子記念館☎52・3221

と　き　5月11日㊊まで

いずれも9時～17時

※入館は16時30分まで

※4月28日㊋、5月7日㊍は休館

ところ　山川登美子記念館（千種一丁目）

内　容　登美子が学び育った明治時代の学生の様子を紹介

入館料　大人300円、高校・大学生200円、中学生以下無料

※第1回山川登美子短歌文学賞の受賞作品も展示

◆健康・福祉◆

すこやか食育教室

健康管理センター☎52・2222

お父さん、お母さんを対象にした食育教室に参加してみませんか？

とき・ところ　希望を聞いて調整

対　象　小学生以下の子どもがいる親の所属する団体（参加可能人数は10～30人）

内　容　食事についての学習や調理実習、試食

参加費　1人100～300円（参加人数によって変わります）

申込期限　5月29日㊎

くらしの情報 5月

◆イベント◆

つきイチ『バラエティー』

文化会館☎53・9700

お昼休みのひととき、お誘い合わせのうえ気軽にお越しください。

と　き　5月20日㊌

12時20分～13時

ところ　庁舎市民ホール（大手町）

内　容　若狭尺八都山会による「呂才の奏」を演奏予定

料　金　無料

郷土史講座「福井県の誕生」

働く婦人の家☎52・7002

近代の越前と若狭の歴史を通して、福井の成り立ちやルーツについて学べる講座です。

と　き　5月30日㊏

13時30分～15時

ところ　働く婦人の家（大手町）

講　師　中島辰男さん（県立若狭歴史博物館元館長）、中島嘉文さん（県史編纂担当）

※申し込み不要。参加費無料

旧料亭「蓬嶋楼」一般公開中！

伝統的な町並みが残る小浜西組地区で、明治から昭和にかけて営まれた旧料亭「蓬嶋楼」の一般公開を始めました。

と　き　土日祝日の10時～16時

※5月4日㊊㊗は休館

ところ　蓬嶋楼（飛鳥）

入館料　無料

■問い合わせ　文化課☎64・6034

下中井

飛川橋　5/31㊐ 開通

平成25年9月の台風18号による大雨によって2級河川南川に架かる飛川橋が流出し通行不能となっていました。この度、復旧工事を終えて、新しい橋が5月31日㊐に開通します。

従来は幅員が狭く2㍍でしたが、これを4㍍に拡幅するとともに、被災時と同等の洪水にも対応できる新しい橋に架け替わります。

落成式（飛川橋落成式実行委員会主催）

と　き　5月31日㊐10時～

ところ　飛川橋（下中井）

復旧中の飛川橋　平成27年4月10日

被災時の飛川橋　平成25年9月16日

■問い合わせ　都市整備課☎内線 245

春の一緒に登りませんか
市民体育館

小浜山の会では、恒例の「一緒に登りませんか」の参加者を募集しています。今回は、日本百名山の一つ「荒島岳（あらしまだけ）」に登ります。

と　き　5月31日㊐
ところ　荒島岳（大野市 1,524㍍）
集　合　5時30分に県若狭合同庁舎駐車場（遠敷一丁目）
対　象　小学生高学年以上
定　員　先着30人
参加費　大人 5,000円
　小学生 3,000円
　※バス代含む。下山後の入浴代は別途
申し込み　5月17日㊐までにボランティア市民活動交流センター☎52・7837まで

一般弓道教室
市民体育館☎53・0064

と　き　5月18日㊊～6月18日㊍の月曜・木曜　計10回
　いずれも19時～21時
ところ　総合運動場内弓道場（口田縄）
定　員　先着20人
参加費　1,500円
申し込み　5月15日㊎までに市民体育館窓口にて

一般女性バドミントン教室
市民体育館☎53・0064

と　き　5月8日㊎～7月10日㊎の金曜　計10回
　いずれも19時30分～21時
ところ　市民体育館（後瀬町）
定　員　一般女性先着20人
参加費　1,500円
申し込み　5月5日㊋までに市民体育館窓口にて

◆スポーツ◆

テニス教室
市民体育館☎53・0064

と　き　5月9日㊏～6月27日㊏の土曜
　①一般（高校生以上）
　9時～11時
　②小中学生（小学3年生以上）
　9時30分～11時
ところ　総合運動場内テニスコート（口田縄）
定　員　各先着20人
参加費　①一般 2,000円
　②小中学生 1,500円
申し込み　5月5日㊋までに市民体育館窓口にて

小浜市陸上競技場（口田縄）は、スポーツ振興くじ助成を受けて整備しました。
toto FOR ALL SPORTS OF JAPAN
生涯学習スポーツ課 ☎53・0064

小浜を盛り上げる
地域おこし協力隊が行く！

㊐商工観光課 ☎内線220

VOL.1「新年度を迎えて」

アイザワです。無事に平成26年度を過ごせたこと、みなさまに厚く御礼申し上げます。

4月より地域おこし協力隊が2名に増えました。新たにハラさんをお迎えし、こちらも「地域おこし協力隊が行く！」に生まれ変わります。

県外から来た女性2人の視点で、小浜市の魅力をどんどんお伝えしていきたいと思います。

私の2年目の活動は、市内で「和」をテーマにした、小さくても楽しい企画の実行と、観光ツアープログラムの企画・PRに更に取り組んでいきます。これからもどうぞよろしくお願いいたします。

次回はハラさんです、お楽しみに！

「地域おこし協力隊員」が地域を元気に！

市では、平成26年度から、観光コンテンツの企画・開発、情報発信、誘客促進に取り組む「地域おこし協力隊員」として、宮城県出身の相澤弘美（あいざわひろみ）さん（38歳）を委嘱。平成27年度も、東京都出身の原寿鶴（はらすず）さん（23歳）を、隊員として新たに委嘱しました。

4月1日に、松崎市長と面談した、原さんは、「自分が感じた小浜の楽しさを都会の人に伝えていきたいです」と、決意を述べました。

市長と面談した地域おこし協力隊員の相澤さん（右）と新しく隊員の委嘱を受けた原さん（中）

各種IT研修（パソコン教室）
福井県産業情報センター嶺南支所☎52・1500

●Illustrator入門
と　き　5月14日㊍10時～17時
受講料　8,000円
●はじめてのホームページ制作入門
と　き　5月22日㊎10時～17時
受講料　9,706円
●MS-Excel2013
と　き　5月27日㊌、28日㊍10時～17時
受講料　12,160円
※いずれも、会場は県産業情報センター嶺南支所（白鬚）
※電話または県産業情報センター嶺南支所のホームページからのダウンロードで申込書を取り寄せ、必要事項を記入し、FAX52・1510まで申し込んでください

河川愛護モニター
福井河川国道事務所☎0776・35・2661

内　容　河川の状況報告（月1回）
期　間　7月1日～平成28年6月30日までの1年間
資　格　20歳以上で、北川・遠敷川からおおむね5㌔以内に住んでいる人。または通勤・通学などでそれに準ずる環境にある人
報　酬　月額4,580円（予定）
申込期限　6月2日㊋
※詳しくは、福井河川国道事務所のホームページを確認いただくか、問い合わせてください

日本語ボランティア入門講座
福井県国際交流協会☎0770・21・3455

と　き　5月～11月の土曜か日曜
　いずれも13時30分～16時30分
ところ　若狭図書学習センター（南川町）
内　容　外国人に日本語を日本語で教える基礎を学びます
定　員　20人（要申し込み）
※詳しくは問い合わせてください

フラワーデザイン講座
農林水産課

と　き　5月21日㊍、7月9日㊍、10月15日㊍、11月19日㊍、12月24日㊍
　いずれも13時30分～15時
ところ　嶺南振興局農業研修館（遠敷一丁目）
参加費　3,000円／回
申込期限　5月7日㊍
問い合わせ　（公社）ふくい農林水産支援センター☎0776・21・8315
※年間5回シリーズですが、すべての回に参加を強いるものではありません

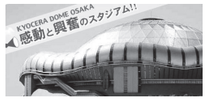
季節の調理体験（5月編）
御食国若狭おばま食文化館☎53・1000

と　き　5月18日㊊、19日㊋、23日㊏いずれも10時～13時
ところ　食文化館（川崎三丁目）
内　容　いなり寿司、油揚げの山菜巻き、豆腐カツほか
定　員　各先着30人
参加費　700円
申込期限　実施日の3日前

◆募　集◆

農・林業機械オペレーター養成研修
農林水産課

と　き（前期）　大型特殊（限定なし）、けん引（農耕限定）
　6月3日㊌～17日㊌
　大型特殊（農耕限定）
　7月3日㊎～8日㊌
　※中期・後期の日程は問い合わせてください
ところ　ふくい園芸カレッジ（あわら市井江葭）
受講料　大型特殊（限定なし）、けん引（農耕限定）
　50,000円
　大型特殊（農耕限定）
　25,000円
申込期限　5月13日㊌
　※先着順で定員になり次第締め切り。定員に満たない場合でも、各研修開始の3週前に締め切り
※申し込み、問い合わせは、（公社）ふくい農林水産支援センター
☎0776・21・8315まで



御食国大使からの特別企画

プロ野球観戦バスツアー

御食国大使（丸善食品株式会社 大澤昭二（おおさわしょうじ）さん）からプロ野球（オリックスＶＳ西武戦）観戦の招待状が届きました。ドームで昼食付きの観戦です。たくさんの応募お待ちしています。

と　き　6月21日㊐9時　市役所前集合（試合開始13時）
ところ　京セラドーム大阪（大阪市西区）
募集人数　40人（ペア20組）　※応募者多数の場合は抽選
対　象　小浜市民（高校生以下の場合は保護者同伴）
参加費　無料
応募方法　ペアで申し込み（応募は1人1回限り）
　往復はがきに2人の住所、氏名、年齢、連絡先を記入
　（返信用には代表者の住所、氏名を記入）
応募期限　5月18日㊊17時必着
応募先　〒917-0081　小浜市川崎3丁目4番食文化館内
　食のまちづくり課　野球観戦ツアー係　宛

職場のトラブルで困っている労働者・事業主の皆さんへ

職場のトラブルで悩んでいませんか？

福井労働局では、個別労働紛争の未然防止や職場慣行を踏まえた円満・迅速な解決を図ることを目的とした、解決援助サービスを無料で行っています。

いつでも気軽に相談してください。

【主な職場トラブル】

解雇、退職、労働条件の不利益変更、いじめ・嫌がらせ、男女均等待遇、育児休業の不利益取り扱い、パートの均等待遇など

【相談コーナー】

敦賀総合労働相談コーナー
ところ　敦賀労働基準監督署内（敦賀市鉄輪町）
電　話　0770・22・0745（女性相談員がいます）

※職場トラブルに関する手続きや制度など各種情報は、福井労働局のホームページでも紹介しています
http://fukui-roudoukyoku.jsite.mhlw.go.jp

地域のものづくりを応援！

ものづくり就職奨励金交付制度

市では、若年層の定住促進や、地場産業の雇用安定・活性化のために、市内企業（製造業に限る）に就職した人に、奨励金を交付しています。

対象企業への就職者はぜひ利用してください。また、対象企業の皆さんは、求人活動を行うときの、PR ポイントとして制度を活用してください。

【制度概要】

市内企業（製造業に限る）に就職して、1 年間継続して就業した人（以下のいずれかに該当する人）に、10 万円を交付します。

①中学校、高等学校、大学などを卒業した後、1 年以内に就職し、市内に住所を有する人
②U ターン、I ターンで本市へ転入した日から 1 年以内に就職する 35 歳未満の人で、市内に住所を有する人

【申請方法】

就職後 1 カ月以内に商工観光課に認定申請書（市公式ホームページからダウンロード可）を提出

【問い合わせ】

商工観光課☎ 53・9705

事業運営や就業者の生活をサポート

市の融資・補助制度をお知らせします

■問い合わせ
商工観光課☎ 53・9705

名　称	対　象	条　件	融資限度額（利率）・補助限度額
中小企業融資制度	「お店を改装したい」「仕入れにまとまったお金がほしい」など事業運営のための資金が必要なとき	●市内で事業を 6 カ月以上営んでいる ●市税を完納している ●償還能力がある	1,000 万円 県信用保証協会の ▶保証あり　～1.50%※ 1 ▶保証なし　～1.90%
勤労者・就業者生活安定資金	「車を買い換えたい」「旅行をしたい」などのとき	●市内在住 ●償還能力がある ●現職場に 1 年以上勤務している	150 万円 ▶ 3 年以内　～1.30% ▶ 5 年以内　～1.60%
未組織労働者保証料補給金	県労働者信用基金協会から債務保証を受けて、労働金庫から融資を受けるとき	●市内在住 ●労働組合に加入していない労働者	▶生活資金　150 万円 ▶福祉資金　300 万円 ▶住宅資金　500 万円 いずれも保証料の 2 分の 1
中小企業信用保証料補給金	平成 28 年 3 月 31 日までに、県の「経営安定資金」融資を利用した市内中小企業者に信用保証料の一部を補助	●県経営安定資金の「融資対象 1 ～ 6」に該当する中小企業者で、セーフティネット保証（5 号）の市長認定を受けている ●市税を完納している ●信用保証料を全額一括納入している	一括納入した信用保証料（信用保証を利用する際に支払わなければいけない対価）の 3 分の 1 の額（10 万円上限） ※ 2

※利率は平成 27 年 4 月現在（変動する場合があります）

※ 1　全額を一括納入した信用保証料の 3 分の 1 について、10 万円を限度として補助します
※ 2　県が 3 分の 1 の信用保証料補給を行っているときは、一括納入した信用保証料を 3 分の 2 で割り戻した額の 3 分の 1

【 平成 27 年度スポーツ教室 】

教室名	期間	対象
テニス（一般）	5 月 9 日～6 月 27 日の毎週㊏	高校生以上・定員 20 人
テニス（小中学生）	5 月 9 日～6 月 27 日の毎週㊏	小学 3 年生以上・定員 20 人
バドミントン（一般女性）	5 月 8 日～7 月 10 日の毎週㊎	18 歳以上の女性・定員 20 人
バドミントン（小中学生）	10 月 15 日～11 月 16 日の毎週㊊㊍	小学 3 年生以上・定員 20 人
弓道教室（一般）	5 月 18 日～6 月 18 日の毎週㊊㊍	18 歳以上・定員 20 人
ミニバスケットボール（小学生）	未定	小学 5・6 年生・定員 20 人
ショートテニス（小学生）	平成 28 年 1 月 9 日～2 月 27 日の毎週㊏	小学 1 ～ 4 年生・定員 20 人
若狭卓球クラブ	毎週㊋㊍㊎	小学生以上
小浜ジュニア陸上クラブ	毎週㊐	小学 4 ～ 6 年生（3 年生以下要相談）
少年レスリング教室	毎週㊊㊍	4 歳～小学 6 年生（中学生も可）
小浜バドミントンジュニア	毎週㊋	小学生以上
小浜少年柔道教室	毎週㊊㊍	小学 1 ～ 6 年生
小浜少年剣道教室	毎週㊋㊍㊏	年中組以上
少年ラグビー教室	毎週㊐	年長組～小学 6 年生
アルタス小浜ジュニアサッカースクール	月 3 ～ 4 回㊏	小学 3 ～ 6 年生
	隔週㊐	小学 1・2 年生

【 平成 27 年度スポーツ大会 】

月	日	種　目
5	9 ㊏	春季市民グラウンドゴルフ大会
	10 ㊐	市民山登り大会
	17 ㊐	地区対抗ソフトボール大会
6	21 ㊐	地区対抗バレーボール大会
7	18 ㊏～20 ㊊㊗	第 46 回小浜市学童野球大会
8	29 ㊏、30 ㊐	地区対抗バスケットボール大会
9	26 ㊏	秋季市民グラウンドゴルフ大会
10	18 ㊐	市民体育祭
11	8 ㊐	第 61 回嶺南駅伝競走大会
	23 ㊐㊗	第 64 回小浜市駅伝競走大会
H28.1	17 ㊐	地区対抗バドミントン大会
	31 ㊐	第 4 回スポ少ドッヂビー交歓大会、合同体力テスト
H28.2	7 ㊐	地区対抗卓球大会
	14 ㊐	第 48 回小浜市柔剣道大会
	21 ㊐	市民スティックリング大会

スポーツ教室は参加費が必要です。詳しくは、市民体育館☎ 53・0064 まで

集会所トイレ洋式化に補助をします

市では、高齢者などの生きがい活動や、介護予防活動を促進するため、集会所のトイレを洋式化する区へ、工事費の一部を補助します。

【補助率】

補助対象経費の 20%

【限度額】

10 万円

【申請方法】

9 月 30 日㊌までに、健康長寿課へ申請書（同課に設置）を提出

【問い合わせ】

健康長寿課☎内線 174

プリンス&プリンセス　Prince&Princess

出口（でぐち） 千尋（ちひろ） さん（23 歳・北長町）　株式会社ケア･サービス･アイ 勤務

みんなが住みやすいまちに

介護福祉士の資格を取り、小浜でヘルパーとして勤め出して 4 年目になります。仕事で感じるのは、小浜は一人暮らしのお年寄りの方が多いということ。若者にもお年寄りにも住みやすいまちになればいいなと思います。

好きなものは、地元・西津の海。地域の友だち。両親。大事に育ててくれた二人がわたしのお父さんとお母さんで良かったと思っています。

踊ることも大好きで、小学校からダンスを習っていました。いまは、地元のよさこいチーム「若狭踊り屋祭わ衆（まつりしゅう）」に参加して、県内外の舞台で踊っています。結婚して、自分の子どもができたら、親子でいっしょに踊るのが夢ですね。

▶次号は、
板庇（いたびさし） 優（ゆう） さん（23 歳・北塩屋）
にバトンタッチします

きらり！小浜人　Obama Star

マーメイドJazzフェスティバル実行委員長　宮原（みやはら） 操（みさお） さん（43 歳・青井）

みんなの想いとともに前へ

5 年前、夫の仕事の都合で出身地の小浜に 10 年振りに帰郷。久しぶりに戻ったふるさとで、色んな人との出会いがあり、魅力あるこのまちで昔から好きだった音楽のイベントをしたいと思うようになりました。

昨年はまちなか 3 カ所での音楽イベントを開催。今年は、食文化館隣に整備された芝生公園「海のガーデン」のこけら落としとして、5 月 16 日㊏にジャズフェスティバルを企画しています。

勇気を出して、「やりたい」と想いを口にすると支えてくれる人たちがいました。そのサポートがあるから、わたしは前に進めます。だから、わたしもみんなの想いを背負っていくつもりです。

マーメイドJazz フェスティバル「若狭のうみおと」（入場無料）
と　き　5 月 16 日㊏ 13 時～ 20 時 20 分
ところ　海のガーデン一帯（川崎三丁目）
出　演　Fried Pride（フライド プライド） ほか多数
公式ブログで情報発信中！
http://ameblo.jp/wakasa-no-umioto

イチ押し！トップアスリート Top Athlete

小浜市バレーボール協会 内藤（ないとう） 和志（かずし） さん（19 歳・竜前）

必要なのは楽しむこと

子どもの頃から体を動かすのが好きでした。中学校の部活でバレーボールを始め、現在は、社会人バレーボールチームの「小浜連合」に所属しています。

チームには市内の社会人 15 人が所属して、毎週水曜日の 20 時から、小浜第二中学校体育館で練習をしています。にぎやかで頼りになる先輩たちに囲まれて、楽しくプレーしています。ぼくも、将来は後輩の見本となれるような選手になりたいですね。

バレーに必要なものは、「楽しむこと」。楽しめたら誰でもできるし、ポジションごとに魅力があります。年齢を重ねても、一生できるスポーツなので、今後もずっと続けていきたいです。

アート＆カルチャー Art&Culture

男声合唱団フロッグス 代表 花澤（はなざわ） 勇（いさむ） さん（77 歳・生玉）

男声合唱団フロッグスの皆さん（前列左から 2 人目が代表の花澤さん）

目指すは全日本合唱コンクール

男声合唱団フロッグスは、平成 8 年に結成しました。団員には、若狭地域在住の 40 代から 70 代の男性 14 人が所属しています。練習は毎週水曜日の 19 時 30 分から。コンクールの出場や、依頼があると、コンサートやイベントへの出演もしています。

年代は違いますが、みんなのチームワークを大事にしています。演奏会で良い合唱ができたときは、達成感がありますね。全日本合唱コンクールの中部大会へは出場経験があるので、今後はみんなで切磋琢磨（せっさたくま）して、全国大会出場を目指したいです。

楽譜が読めなくても、歌が好きな人なら誰でも気軽に参加できます。興味のある人は、花澤☎ 52・1350 までご連絡ください。練習見学も歓迎します。

毎週水曜日に指導者を招いて練習（文化会館）

■ 5 月カレンダー

※印のついた催しは要予約です。内容は変更される場合があります。

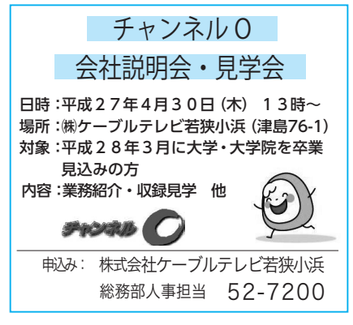
日	催し、イベント など	休館日	休日当番医
1 日㊎			
2 日㊏	10 時～ お城祭り（3 日も・小浜神社ほか・若狭おばま観光案内所☎ 52･2082） 11 時～ 大きなえほんをたのしもう（市立図書館☎ 52・1042）		
3 日㊐㊗	10 時～12 時 くるみパンを作ろう！（食文化館☎ 53・1000） 14 時～16 時 焼き鯖ずしを作ろう！（食文化館☎ 53・1000）	市立図書館 市民サービスコーナー	中山クリニック（多田） ☎ 56・5588
4 日㊊㊗	10 時～12 時 焼き鯖ずしを作ろう！（食文化館☎ 53・1000） 14 時～16 時 へしこピザを作ろう！（食文化館☎ 53・1000） 14 時～ お楽しみかみしばい（食文化館☎ 53・1000）		★吉井医院（塩竈） ☎ 52・0028
5 日㊋㊗	10 時～12 時 かしわ餅を作ろう！（食文化館☎ 53・1000） 10 時～、13 時～ 館内クイズラリー（食文化館☎ 53・1000） 13 時～ はたらく乗り物大集合 !!（食文化館☎ 53・1000）		★田中病院（遠敷十丁目） ☎ 56・5353
6 日㊌㊗		市民サービスコーナー	西津診療所（北塩屋） ☎ 52・1560
7 日㊍		温水プール	
8 日㊎			
9 日㊏	10 時 30 分～ よちよちおはなしかい（0～ 2 歳向け・市立図書館☎ 52･1042） 11 時～、14 時 30 分～ なかよしおはなしかい（3 歳以上向け・市立図書館☎ 52･1042）		
10 日㊐			★にしお内科クリニック（南川町）☎ 53・2407
11 日㊊	9 時 30 分～16 時 子育てワイワイ広場（健康管理センター）	温水プール	
12 日㊋	9 時 30 分～ すくすく広場※（子育て支援センター☎ 56･3386）	市立図書館	
13 日㊌	9 時 30 分～ のびのび広場「お外であそぼ」※（子育て支援センター☎ 56･3386）		
14 日㊍			
15 日㊎	9 時 30 分～ なかよしタイム※（子育て支援センター☎ 56･3386）		
16 日㊏	13 時～ マーメイド Jazz フェスティバル（海のガーデン一帯※詳細は P19）		
17 日㊐		市立図書館	★本馬医院（水取一丁目） ☎ 52・2233
18 日㊊	10 時～13 時 季節の調理体験※（食文化館 ※詳細は P14）	温水プール	
19 日㊋	10 時～13 時 季節の調理体験※（食文化館 ※詳細は P14）	市立図書館	
20 日㊌	9 時 30 分～ 子育てサロン「子育て相談会」※（子育て支援センター☎ 56･3386） 12 時 20 分～13 時 つきイチ『バラエティー』（庁舎市民ホール ※詳細は P12）		
21 日㊍	13 時 30 分～15 時 フラワーデザイン講座※（嶺南振興局農業研修館 ※詳細は P14）		
22 日㊎	10 時～、13 時～ 献血（県若狭合同庁舎・㊐社会福祉課）		
23 日㊏	10 時～13 時 季節の調理体験※（食文化館 ※詳細は P14）		
24 日㊐	11 時～ おばま児童文学会「風夢（ふうむ）」のおはなし会（市立図書館☎ 52・1042）		いちせクリニック（南川町） ☎ 53・2415
25 日㊊	9 時 30 分～16 時 子育てワイワイ広場（健康管理センター）	温水プール	
26 日㊋		市立図書館	
27 日㊌	9 時 30 分～ のびのび広場「5 月お誕生会」※（子育て支援センター☎ 56･3386）	市立図書館	
28 日㊍			
29 日㊎	20 時まで 夜間納付窓口開設（税務課）		
30 日㊏	13 時 30 分～15 時 郷土史講座「福井県の誕生」（働く婦人の家 ※詳細は P12）		
31 日㊐	5 時 30 分～ 春の一緒に登りませんか※（県若狭合同庁舎駐車場集合 ※詳細は P15） 9 時～17 時 休日納付窓口開設（税務課）		★小津外科医院（日吉） ☎ 52・0072

※★印のついた医院が休日当番医の場合、杉田玄白記念公立小浜病院（大手町）で小児科医が休日診療を行います
※毎週金曜日（祝日・年末年始を除く）、市役所 1 階の窓口（市民課・健康長寿課・社会福祉課・税務課・環境衛生課・会計課）では、執務時間を 18 時 30 分まで延長しています

■各種相談日程

※印のついた相談は要予約です。相談は基本的に無料です。内容は変更される場合があります。

相談名	開催日	時間	会場	問い合わせ
家庭教育相談	2 日㊏、16 日㊏	14 時～17 時	中央公民館	同☎ 53・1336
エイズ・肝炎相談、検査	7 日㊍、21 日㊍	9 時～10 時 30 分	若狭健康福祉センター	同☎ 52・1300
法律相談（消費生活トラブル）※	7 日㊍	14 時～ 16 時	嶺南消費生活センター	同☎ 52・7830
母乳育児相談	11 日㊊、25 日㊊	10 時 30 分～ 11 時 30 分	健康管理センター	同☎ 52・2222
精神保健相談※	12 日㊋、19 日㊋	9 時 30 分～11 時 30 分	若狭健康福祉センター	同☎ 52・1300
心配ごと相談	13 日㊌	13 時～16 時	サン・サンホーム小浜	社会福祉協議会☎ 56・5802
出張年金相談	14 日㊍、28 日㊍	10 時～12 時、13 時～ 15 時	文化会館	敦賀年金事務所 ☎ 0770・23・9905
身体障がい者相談	15 日㊎	13 時～14 時	公立小浜病院	社会福祉課☎ 64・6012
スクスク元気っ子教室	19 日㊋	10 時～10 時 30 分受付	健康管理センター	同☎ 52・2222
特設人権相談	20 日㊌	13 時～15 時	働く婦人の家	法務局☎ 52・0238
結婚相談	21 日㊍	9 時 30 分～11 時 30 分	文化会館	社会福祉課☎ 64・6011
高齢者専門相談（法律）※	21 日㊍	13 時～16 時	嶺南地域福祉相談・介護実習普及センター	同☎ 52・7832
法律相談（多重債務）※	21 日㊍	14 時～ 16 時	嶺南消費生活センター	同☎ 52・7830



人の動き（4 月 1 日現在）

- 人口 30,456 人
  （前月比 -63 人）
  （前年同月比 -307 人）
  男性 14,859 人
  女性 15,597 人
  世帯数 11,822 世帯
- 異動 転入 192 人
  転出 238 人
  出生 22 人
  死亡 39 人

編集後記

●P21で紹介しましたバレーボール協会の内藤さん▶取材の中で、いま所属しているチームに入った理由を尋ねたところ▶なんと、2 年前に広報おばまに掲載したチームの紹介記事を読んだことがきっかけ、とのこと▶当時、記事を担当したのも偶然わたしでした▶人と人、人とまちをつなぐ、広報の役割を果たせるように、これからも地域で活躍する人の姿を追い続けていきたいです（松）

●今月号から広報を担当させていただくことになり、取材や写真撮影など、慣れない毎日を送っています▶広く報じると書いて広報ですが、お知らせすべきものの多さと、取捨選択の難しさに驚くばかりです▶中でも写真は一枚の掲載写真のために数百枚撮影することもしばしば▶分かりやすい記事や、ほっとできる写真など、よりよい紙面を目指して今後とも精一杯頑張ります（仲）

広報おばま
No.737　平成27年4月22日（水）発行

今月の一枚

短い春のひととき

妙祐寺のしだれ桜（上中井）

しだれ桜が散り始めたころ、花びらが舞う中で撮影しました。もちろん全景も壮観の一語ですが、一輪の桜の花もまた優美でよいものです（4月5日撮影）

登録しよう！防災メール

市では、メールで災害や避難の情報を知らせています。ウェブサイト（http://bousaiobama.mail-dpt.jp/）か、下記のQRコードを携帯電話で読み取り、手続きを行ってください。

ホットフォト Hot Photo

まちのニュースを写真でお届けします！

上／春のワクワク探検隊で小学生28人が野外活動や地域の歴史を学ぶ（上中井・3月27日）
左上／食文化館で、浜っ子こども園の園児29人を招き足湯開き（川崎三丁目・4月6日）
左下／市子ども会育成連合会のスプリングキャンプに小学生32人が参加（阿納・3月26日）

■発行　福井県小浜市　〒917-8585　小浜市大手町6番3号
■編集　企画部市民協働課　☎64・6009
●ホームページ　http://www1.city.obama.fukui.jp/
●電子メール　kouhou@city.obama.lg.jp
●印刷　若越印刷（株）小浜営業所